



SENDAI BOSAI TECH

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム
2022年度 活動説明会

2022/7/22 (金)

本日のプログラム

【第一部】

2022年度 活動説明会



【第二部】

質問会



ご質問について

【第一部】

2022年度 活動説明会



説明会中の質問は
Q&A機能から受付けます。

※この場で回答できない質問は、
後日、改めて回答をご連絡します。

2022年度 活動説明会の流れ

仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームのご紹介

2022年度 活動予定のプログラム紹介

- 国内事業創出プログラム
『FutureAwards ～テクノロジーで明日を守るプランニングコンテスト～』
- 海外展開支援プログラム
『Step Abroad! 防災・災害対策の技術・経験を海外へ！』
- 実証実験サポートプログラム

過去プログラム参加企業のご紹介 プログラム参加企業の事例紹介

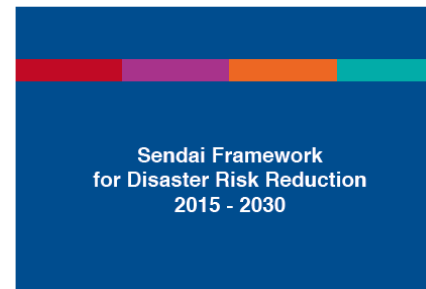
仙台BOSAI-TECH イノベーションプラットフォームのご紹介

仙台市・経済産業振興課 課長 荒木田様

仙台防災枠組2015-2030

● 第3回国連防災世界会議（2015年3月開催）

幾多の災害から日本が得た教訓、防災技術・ノウハウ等の発信。
国際的な防災の取組指針「仙台防災枠組2015-2030」を採択。



● 持続可能な開発目標（SDGs）（2015年9月決議）

ターゲット11.b（抜粋）

『2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。』



仙台市経済成長戦略2023（2019年～2023年）

取り組みの視点

ウィズコロナによる
地域経済の再生と変革

地元企業や産業の
競争力強化

経済成長と
社会的課題解決の両立

東北の
持続的発展への貢献

数値目標

2023年度までに黒字企業割合50%超

2つの感染症対策プロジェクトと7つの重点プロジェクト

地域経済の再生と 新たな挑戦

地域経済への影響を最小限に抑える取り組み

経済環境の変化を踏まえた変革の促進

地元企業の更なる成長促進

「地域リーディング企業」を生み出す
徹底的集中支援の推進
(意欲ある中小企業の成長促進)

ローカル経済循環を拡大する
「地消地産」の推進
(中小企業の持続性向上・域内経済循環促進)

イノベーションによる新たな成長の促進

Society5.0を実現する
「X-TECHイノベーション都市・仙台」
(ICTによる地域産業の高度化)

東北の豊かな木米を創る
「ソーシャル・イノベーション都市・仙台」
(起業支援の新たなステージへ)

次世代放射光施設立地を最大限に生かす
「光イノベーション都市・仙台」
(次世代放射光施設の利活用促進)

地域経済が成長する ための基盤づくり

ダイバーシティ経営と人材確保
(多様な人材が中小企業で活躍する社会へ)

仙台・東北のポテンシャルを高める基盤づくり
(企業誘致推進・東北自治体とのネットワーク強化)

持続的な経済成長

目指す姿

仙台・東北で暮らす人々が豊かさを実感できる未来

- 社会課題をICTを用いて解決するとともに、ICT産業の振興を行う。
- そのうちのひとつが仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業。

仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

経済面からの視点で、BOSAI-TECH（防災×IT）分野での新事業創出を支援

仙台防災枠組

世界の災害リスク削減の実現

仙台市経済成長戦略2023

- 東日本大震災の教訓を踏まえた防災環境都市作り
- Society5.0を実現する「X-Techイノベーション都市仙台」の実現

BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業

新事業創出の
プログラム
(2019年度・開始)

+

BOSAI-TECHプラットフォーム

事業創出の活動母体
(2022年2月3日設立)

2021年度の取り組み（1/2）

1



国内企業向け 事業創出プログラム

- **テーマ**
- テクノロジーを活用した効果的な災害情報の伝達 等
- **採択企業**
フォルテ(株), サウンド(株), アンデックス(株), ニューラルポケット(株)

2



Global Innovationプログラム

テーマ

- 【東京海上】 防災分野における3Dシミュレーション
- 【ドコモ】 映像配信/解析、XR、ロボティクス技術を活用したソリューション

採択企業

Time2Market, AMA Experteye, BrainPoolTech, PaperAirplane 等

2021年度の取り組み（2/2）

3



実証実験サポートプログラム

- **概要**

防災関連事業の創出や社会実装を進めるための実証実験を行うプログラムです。実証フィールドの調整や検証費用等を支援します。

- **採択企業**

プライムバリュー(株)、丸紅(株)、NECプラットフォームズ(株)
生活協同組合連合会 コープ東北サンネット事業連合、情報整備局

4



BOSAI-TECHカンファレンス

概要

防災分野に関心の高い企業・研究機関・自治体が国内外から集結し、BOSAI-TECH事例の紹介や参加者とのマッチング機会を提供するイベント。2021年度は3/1開催。

登壇企業

国内企業 11社、海外企業 6社、等

2021年度の取組 (BOSAI-TECH実証実験例) 企業×自治体

屋外拡声装置×音声デジタル加工
(サウンド(株) 2022.2)



避難所×デジタル受付・地域BWA
(アンデックス(株)・フォルテ(株) 2022.2)



防災重点ため池×遠隔監視システム
(NECプラットフォームズ(株) 2022.1)



仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム



■プラットフォームの目指す姿

『仙台防災枠組』の実現を目指し、

【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した

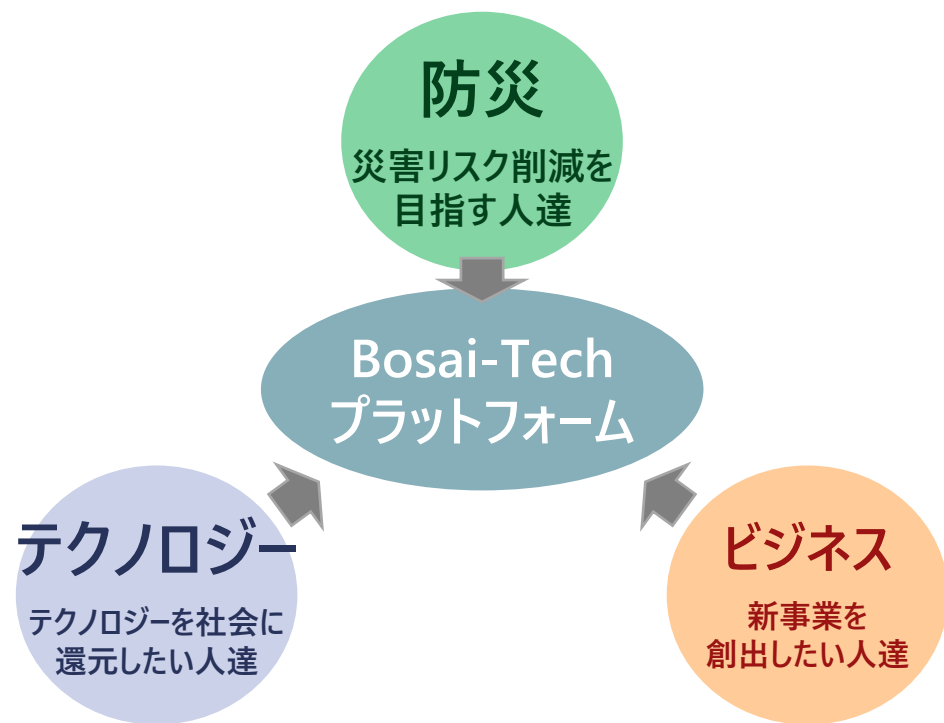
新たな解決策を生み出す場となり、

その解決策を仙台、日本全国、世界へと展開する

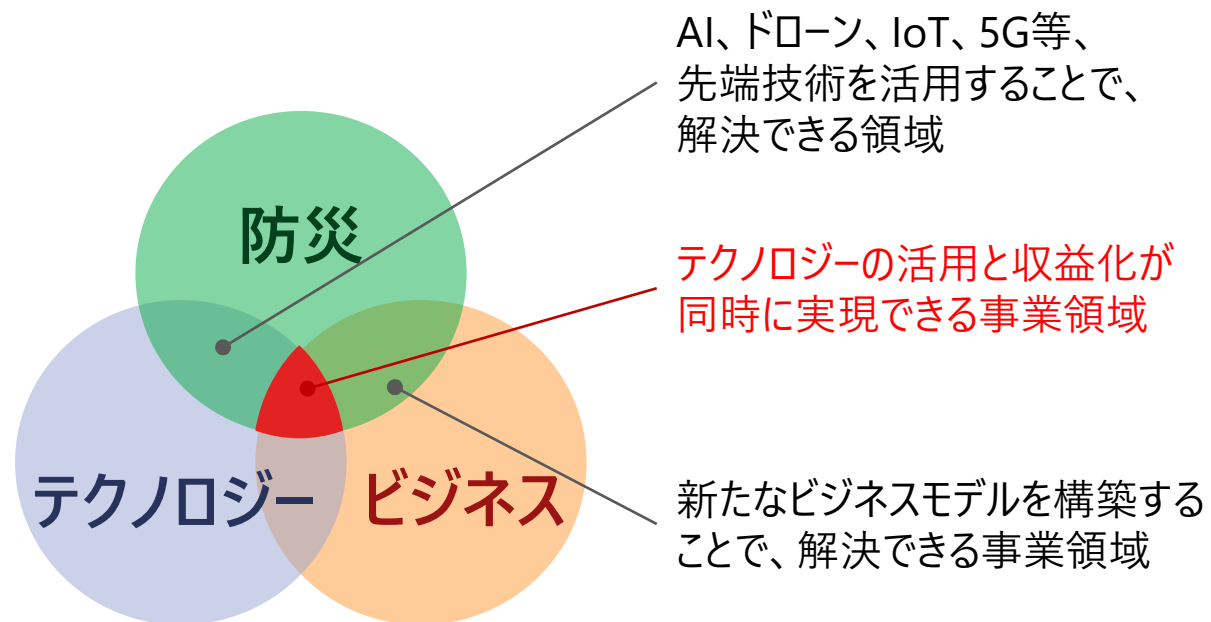
2022年2月3日にプラットフォームが設立されました。

プラットフォームのコンセプト

■プラットフォームで創出する解決策の領域

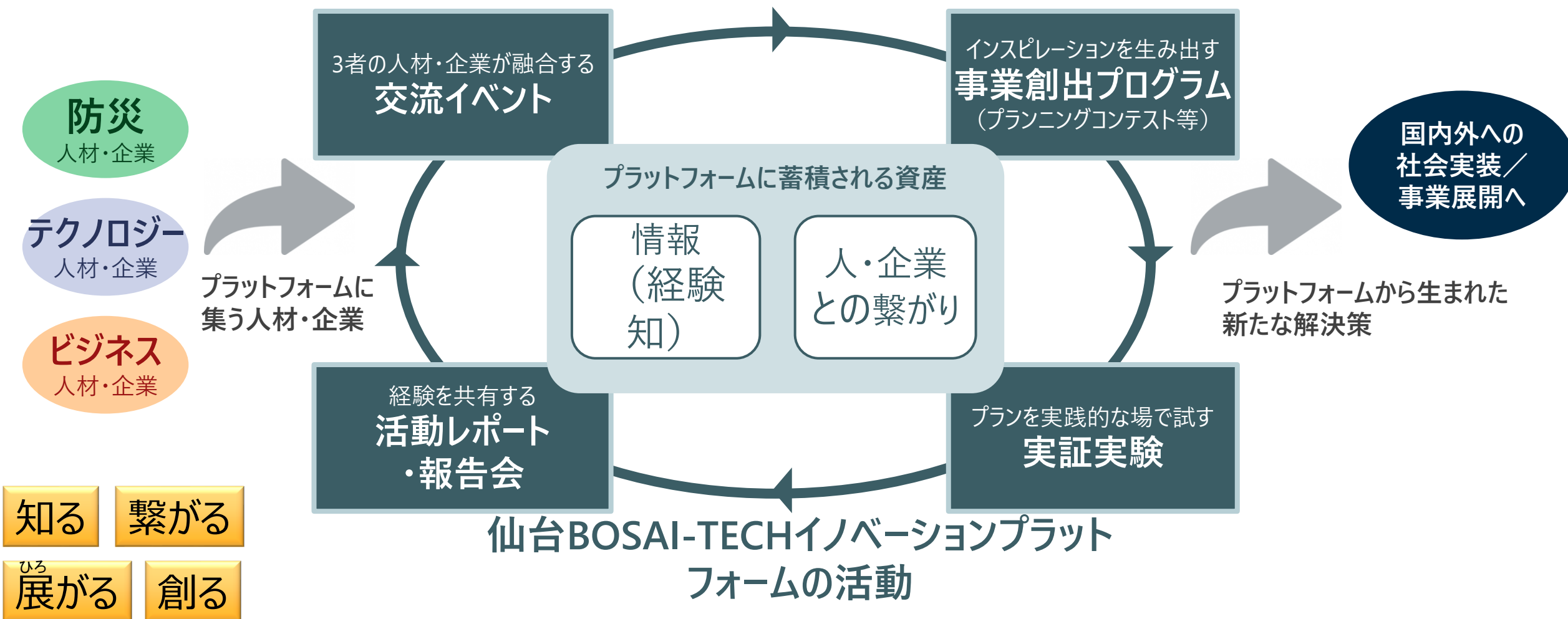


人材・企業が集う場の提供



【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】を融合した
新たな解決策を持続的に生み出す

プラットフォームの活動内容



プラットフォームの活用イメージ

防災ソリューションやビジネスの
情報収集や疑似体験



自治体・団体等

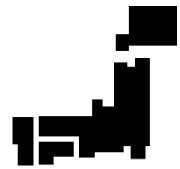
防災課題やテクノロジーの提案
各種プログラムへの参加



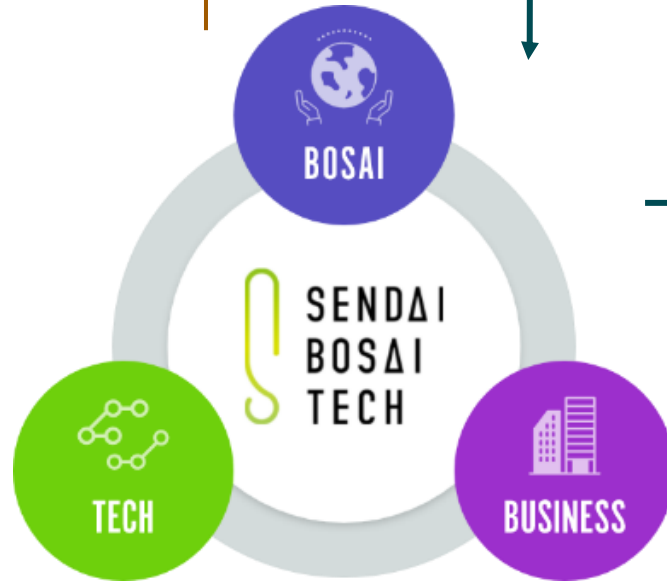
防災ニーズや事例、
共創先の情報収集

企業

自治体・団体の取組発信
自治体・団体内の事業者を紹介

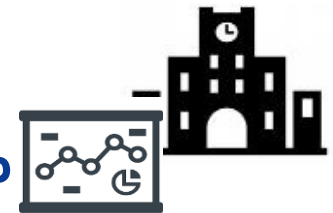


国・地域等のプラットフォーム



相互情報発信・連携

専門的なアドバイスや
データの提供



研究機関

プラットフォームの活用（事例・実証の蓄積・共有）

実証実験の共有（例：ため池監視）

取り組み事例 | 実証実験

小型無線システムの画像監視による防災ソリューションの実証（ため池監視）
NECプラットフォームズ株式会社

資料はこちら

2022.03.15

| IoT、センサー | 事例 | 実証実験サポートプログラム（2期） |

企業の取組紹介・コンタクト



日本

アンデックス株式会社

宮城県仙台市青葉区




担当者
代表取締役
三嶋 順（みしま じゅん）

[ウェブサイトへ](#)
担当者にメッセージを送る

テクノロジーを活用した効率的な避難所運営支援、地域BWAを活用した「AIカメラ」で避難所運営を効率化するシステムなどを開発しています。長年培ってきたITシステム開発力と通信事業での強みを活かし、日本だけでなく海外の災害や危機管理にも活用できる防災サービスの開発を目指しています。


事例の共有（例：岐阜県大垣市における【防災×DX】） 取組紹介（例：国家戦略特区秋田県仙北市の挑戦）

岐阜県大垣市における【防災×DX】の取り組みについて



大垣市
生活環境部危機管理室・主幹
山田 芳弘
Gcomホールディングス株式会社

新型コロナウイルス感染症により、これまでの避難所運営や防災訓練などについて大幅な見直しが求められています。そこで、デジタル技術を活用し新たな課題解決をすすめるため、「Urban Innovation Ogaki」という公民連携手法を活用し、どのように【防災×DX】に取り組んだのかを紹介します。特に、「並ばせない」、「迷わせない」避難所受付支援システムの開発及び実証実験について、連携企業から、詳しく紹介させていただきます。



プレゼン資料DL
(大垣市)

プレゼン資料DL
(Gcomホールディングス)


インタビュー

日本最北の国家戦略特区で実験が進む「近未来技術」とは？秋田県仙北市の挑戦

人口2万5千人弱、田沢湖や角館を擁する秋田県仙北市。急速な人口減少と少子高齢化が進むこの市でいま、ドローンや自動運転などの「近未来技術」をまちの産業として発展させる取り組みが進んでいる。農業や防災など地域ならではの課題をさまざまなIT技術を用いて解決しようとする仙北市総務部...

2022.02.07

| ロボティクス、ドローン | 事例 | その他 |



プラットフォームの活用（国・地域等のプラットフォームとの連携）

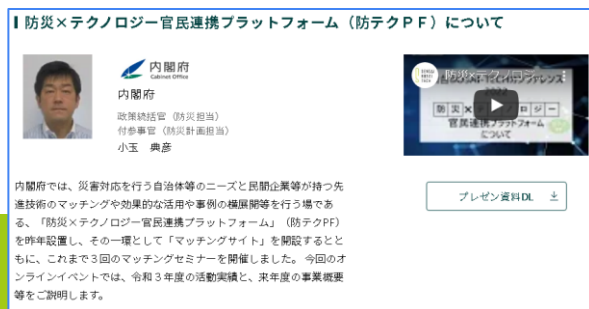
内閣府様との連携(防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム（防テクPF）)

- 令和3年度 内閣府様主催の防テクPFセミナーで仙台市が講演（①）
内閣府様より、仙台市主催のイベントに参加・後援いただく（②）。
- 令和4年度 内閣府様と仙台市で防テクPFマッチングサイトと仙台市プラットフォームに相互に登録（③）
今後、内閣府様と仙台市で、イベントの同日開催や、連携した普及啓発の取組みを検討している。

①第2回防テクPFセミナーにて仙台市より講演



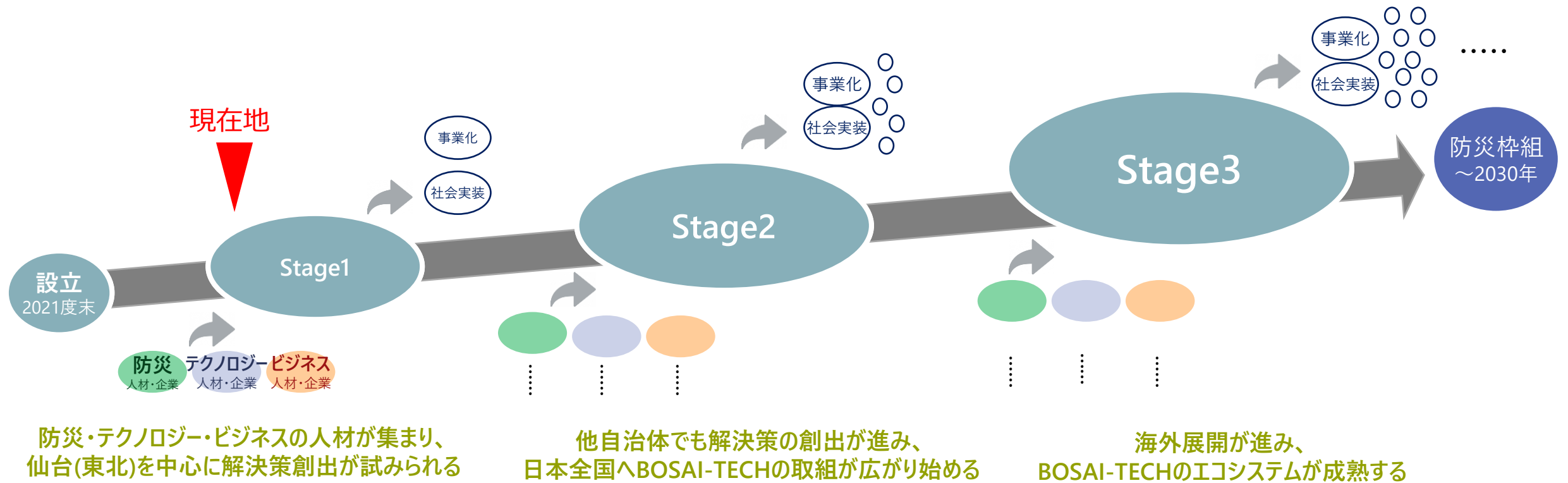
②BOSAI-TECHカンファレンスにて内閣府様より発表いただく



③当市プラットフォームに内閣府様より登録いただく



仙台BOSAI-TECHイノベーションプラットフォームのロードマップ



【2020～2021年度プログラム成果】

- ・仙台市をフィールドとした複数の実証実験が進行中 → 他自治体にもデモンストレーション・実証実験が拡大
- ・一部の製品についてベータ版・プロトタイプがリリース → 仙台市および他企業で導入検討
- ・BOSAI-TECHの社会実装におけるJV設立 → 地域ICT企業が参画
- ・外資系企業と地域企業による協業開始

2022年度 開催予定のプログラム紹介

2022年度 プログラム概要 (1/2)

国内事業創出プログラム Future Awards2022

スタートアップやIT企業等の国内企業が対象。自治体の防災テーマに対して、テクノロジーを活用したソリューションを提案するプログラム。

説明会

2022年8月下旬

募集期間

2022年8～9月末

海外展開支援プログラム Step Abroad! 防災・災害対策の技術・経験を海外へ

JICAを活用した海外展開のスキームをオンラインイベントと個別メンタリングを通じて提供するプログラム。

イベント

2022年11月初旬

メンタリング

2022年11月～
2023年2月末

実証実験 サポートプログラム

防災関連のソリューションや事業アイデア実現に向けた実証実験に取り組むプラットフォームの会員企業を対象に、費用援助を中心に支援するプログラム。

募集 第1期

2022年7～8月

募集 第2期

2022年9～10月

2022年度 プログラム概要 (2/2)

情報発信イベント BOSAI-TECHカンファレンス

国内外のプラットフォーム会員による
自社PRやBOSAI-TECHの最新の取り組み事例を紹介するイベント。

開催日

2023年3月頃

事業化支援プログラム

2021年度プログラム参加企業への
継続支援。

支援期間

2023年3月まで

国内事業創出プログラム FutureAwards2022

- Future Awardsとは
- 参加メリット
- 参加要件
- コンテストの流れ
- 今後の予定
- 参加自治体のご紹介
- 本年度テーマ（仮）



防災・減災課題を解決するプランニングコンテスト

- ・ 自治体から**防災・減災に関するテーマ**を提示
- ・ テーマに関して**テクノロジーで解決するアイデア・プラン**を募集

解決アイデア・プランの**社会実装**にむけた**実証実験**を支援

- **防災現場からの意見を受けて、提案ソリューションをブラッシュアップ**できる
- 自治体の協力*のもと、**提案ソリューションの実証実験**ができる
*実証実験場所の提供、ユーザテストの協力、など
- **実証実験費用の補助**を受けられる
※条件あり。詳細は8月上旬発表予定

**防災・減災課題の解決に意欲的で、
主体的に実証実験に取り組むことができる法人**

- 防災減災に応用できる**技術・プロダクト***を持つこと
*IoT、AI、ドローン、ロボット、センシング、データ分析、位置情報など
- 実証実験のための**ソリューション***を用意できること
*プロトタイプでも可
- 実証実験の際に**現地（自治体の提供するフィールド）に参加***すること
*実証実験のみ。プログラム自体は原則オンラインで実施

仙台BOSAI-TECH Future Awards コンテストの流れ

エントリー	テーマへの解決アイデア・プランの提案書を募集	～9月末
一次審査	提案書、プレゼンの審査/ 採択候補選定	10月
実証実験計画の 具体化	自治体との意見交換/実証実験計画ブラッシュアップ	11月
最終審査	最終提案のプレゼン審査/ 採択決定	11月末
実証実験・ 成果発表	自治体フィールドで 実証実験 /成果報告	12月中旬 ～3月上旬

プログラム説明会

開催日時・場所など

日時（予定）：8/23（火）14:00～15:00

場所：オンライン開催（Zoom）

入場料：無料

内容

- プログラム説明
- テーマ説明（仙台市/多賀城市）
- 昨年度採択企業のご紹介
- 質疑応答

2022年8月上旬 プログラムサイト公開&応募受付開始予定

仙台BOSAI-TECH Future Awards 参加自治体のご紹介 1/2



所在地	宮城県中央部
人口	約110万人
特に対策の必要な災害	地震、津波、風水害
市の特徴	<ul style="list-style-type: none">東北唯一の政令指定都市。国内主要都市とアクセス良好東部に市街地、西部に山岳・森林が広がる夏は冷涼、冬は雪が少ない名所・名物は、伊達政宗公、仙台七夕まつり、など



仙台BOSAI-TECH Future Awards 参加自治体のご紹介 2/2



多賀城市

所在地

宮城県中央東部

人口

約6.2万人

特に対策の必
要な災害

地震、津波、大雨・洪水

市の特徴

- ・ 仙台市から良好なアクセス（公共交通機関で30分ほど）
- ・ 東西に長く、中央に流れる砂押川を境に、東部・北部に史跡、南部に工場地帯、西部に田畑が広がる
- ・ 名所・名物は、多賀城跡（日本三大史跡）、古代米を使用したグルメブランド『しろのむらさき』、など



仙台BOSAI-TECH Future Awards

本年度テーマ（仮）

テーマ		提供自治体
01 迅速な災害情報収集	01-1. 避難・被害情報の効率的な集約・共有	多賀城市
	01-2. 津波避難施設の避難者状況把握	仙台市
02 効果的な災害情報の伝達	02-1. 沿岸部における効率的な情報伝達	仙台市
	02-2. 市街地における不特定多数への情報伝達	
03 効率的な避難所運営	03-1. 一時避難所（津波避難ビル）への避難者受け入れ	多賀城市
	03-2. 指定避難所（学校施設等）への避難者受け入れ	仙台市
04 次なる災害への備え	04-1. 流通在庫備蓄の高度化	仙台市
	04-2. 震災アーカイブスを活用した震災伝承の推進	多賀城市

※テーマ内容は変更の可能性あり

海外展開支援プログラム Step Abroad! 防災・災害対策の技術・経験を海外へ!

本プログラムの概要について

プログラムの目的

- プラットフォーム会員の皆さまに、国際協力機構（JICA）の支援事業を活用した海外展開について知る機会を提供すること。
- 主に、民間企業の海外展開を支援する「**中小企業・SDGsビジネス支援事業**」について理解を深めて頂くこと。

実施方法

- オンラインイベント（セミナー＋質問会）2022年11月初旬予定
- 個別メンタリング（2022年11月～2023年2月末予定）

JICA 支援事業 応募時期

- 本プログラムでは、**23年度**応募に向けて案内予定
※22年度の応募〆切時期は、**2022年10月末**

《JICA支援事業のイメージ》



（出展）JICA HP「[中小企業・SDGsビジネス支援事業 試行的制度改編 概要説明会資料](#)」

本プログラムに参加頂きたい企業様



海外展開に興味はあるが、何から始めてよいか分からない



近い将来、海外展開したいが、まずはニーズがあるか調査してみたい



自社製品・サービスを海外展開させたい



防災・災害対策の技術・経験を活かして、途上国に貢献したい

本プログラムの流れ

1

オンラインイベント

※約2時間

セミナー



JICA支援事業の概要・
過去の事例を知る

質問会



JICA・JICA支援事業を
活用した企業による質疑応答

2

個別メンタリング

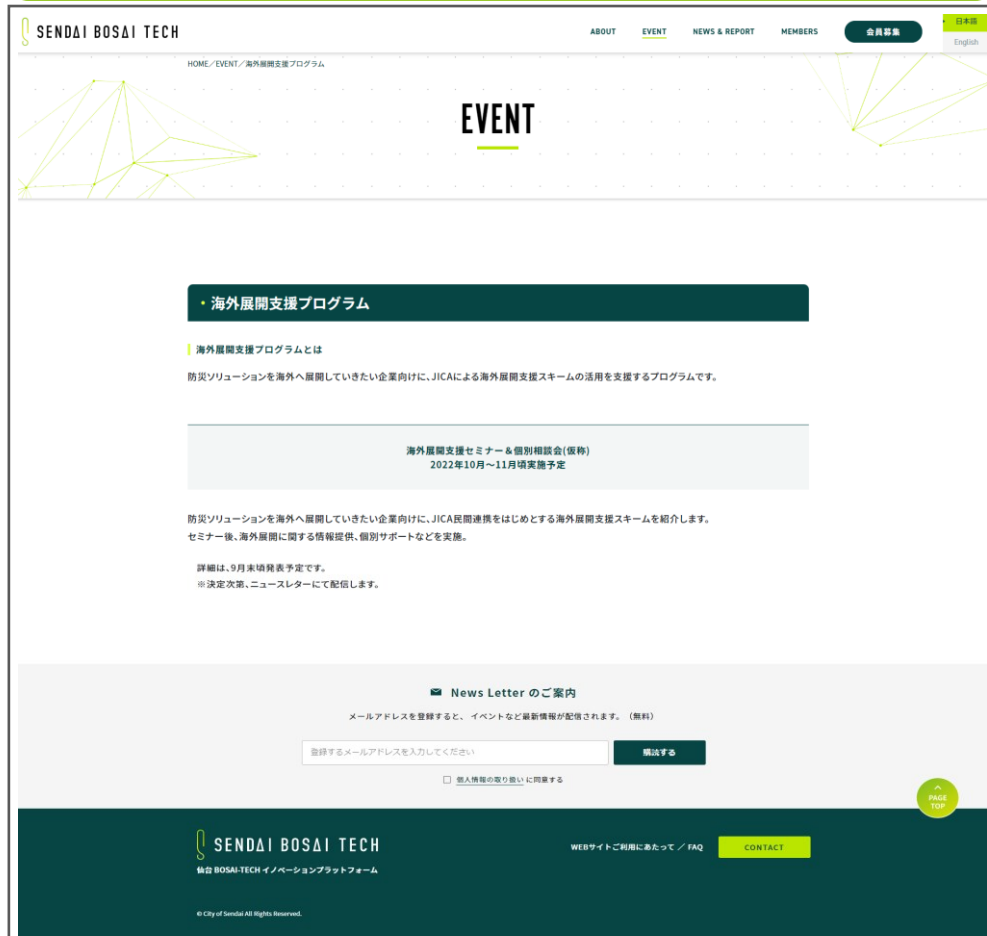


イベント後日、より詳しい相談を希望する方に、
個別メンタリングを実施（※先着順、回数上限あり）

※ JICA支援事業の応募を、22年度（2022年10月末申込〆切）で検討中、かつ、個別メンタリングを現時点で希望の方
【申込フォーム】 <https://sendai-bosai-tech.jp/event/entry/29/>

本プログラムの詳細・申込はこちら

本プログラムのWebページ



／ 随時、情報更新中！ ／

<https://sendai-bosai-tech.jp/event/global2022/>



本プログラム申込開始時期は
10月頃予定

実証実験サポートプログラム

プログラム概要

目的

本プログラムは、仙台BOSAI-TECHの活動に参加する企業が、【防災】×【テクノロジー】×【ビジネス】による新しい解決策の事業化・社会実装のための実証実験の実施に係る費用を支援するプログラムです。

プログラム概要

プログラム内容

応募者は、実証実験計画を仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業事務局に提出します。採択企業に対して、事務局は、実証実験業務を委託し、採択企業は、実証実験を実施し、実証実験報告書を事務局に提出します。

委託内容：応募者が提案した実証実験の実施

委託費用：上限 50万円（税抜） （上限以内で補助が必要な金額を申請すること）

納品物：実証実験成果報告書

委託費の支払：提出された成果報告書の受理後に支払い

その他採択企業の義務：実証実験実施後、仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業に関連するイベントで成果発表を実施すること

応募について

応募資格

応募の資格者は、次の要件を満たす企業とします。

(ア) 仙台市BOSAI-TECHイノベーションプラットフォーム 一般会員*

*注1：応募時点で会員登録前でも応募可となりますが、採択後に会員登録することが支援の条件となります。
また、日本国内に登録がない企業は、国内企業を代表者として合同で申請することを要件とします。

(イ) 2022年11月～2023年2月の期間内に仙台市*での実証実験を実施できること。

*注2：仙台市以外で実証実験を実施する場合でも、仙台市BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業に有益だと認められる場合は対象となります。（例：会員自治体等での実証実験）

費用補助の要件は、Future Awardsと実証実験サポートPGで異なりますのでご注意ください。

応募について

応募期間

実証実験サポートプログラムは、2回に分けて募集予定です。

2022年度第1期： 7月22日～8月31日

1期の実証実験実施期間は10月～12月末の期間に実施できること

提出期限：2022年8月31日（水）17:00

2022年度第2期： 9月頃 募集開始予定

*ニュースレター及びウェブサイトで案内予定です。

応募について

応募方法

企画提案書を応募フォームからご提出ください。
(<https://sendai-bosai-tech.jp/event/entry/30/>)

・企画提案書（様式自由、但し、必ず以下の内容を含むこと）・・・1 部

- ①事業プランの概要
- ②実証実験の実施体制
 - 複数企業で実施する場合、各社の体制、役割を明記すること
- ③実証実験で検証する仮説、検証方法
 - 検証する仮説は想定ユーザーの観点も明記すること(自社の技術検証のみは不可)
 - 実証実験に想定ユーザーが参加する計画となっていること
- ④実証実験の具体的な実施内容、スケジュール
- ⑤費用内訳（自社負担分を含め、実証実験総費用を記載すること）

審査・採択

審査

審査方法

提出書類をもとに書類審査及び面接を行います。

審査基準

以下の基準により総合的に決定します。

- ・解決を目指す課題の重要性、防災・減災への関連性
 - ・実証実験計画の具体性、実現可能性*
 - ・社会実装/事業化に向けたプランの具体性
 - ・費用内訳の妥当性
- *実証実験先との調整は応募企業が実施することが前提

審査・採択

採択

採択された企業は、BOSAI-TECHイノベーション創出促進事業の受託事業者と業務委託契約を締結します*。

*但し、実際の契約金額は必ずしも提案金額と一致するものではなく、審査時に減額する場合があります。
また、契約条件が合致しない場合には、業務委託契約を締結できない場合もあります。

委託費は、提出された成果報告書の受理後にお支払いします。

交流イベント

交流イベント

#1. 会員限定・少人数交流会



開催日 : 8月9日（火）15時～16時
対象者 : プラットフォーム一般会員・個人会員
場所 : オンライン

#2. 座談会

～ 自治体の“避難所運営”のリアルを知ろう ～



開催日 : 9月下旬 予定
対象者 : 防災領域での事業創出に関心のある企業
場所 : オンライン

過去プログラム参加企業のご紹介

過去プログラム参加企業

NTT
docomo



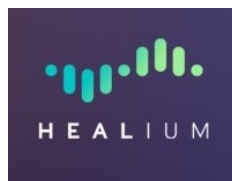
NOKIA

By your side, for life

DAI-ICHI LIFE

 Dai-ichi Life Group

COOP
T O H O K U



THE
AJINOMOTO
FOUNDATION

Orchestrating a brighter world
NEC

IQGeo



Marubeni

 **FORTE**

日本国内・海外から集うプラットフォーム会員は108会員※

うち 28会員がプログラムに参加

※2022年7月19日時点の企業・団体数（個人会員除く）

プライムバリュー株式会社

企業概要

宮城県に拠点を置くスタートアップ
東北を中心に企業のDX化を支援



参加
プログラム

2020年 国内事業創出プログラム
2021年 実証実験サポートプログラム

防災 テーマ

災害時の 物資要請の迅速化

災害発生時、自治体から協定先の民間企業へ物資支援を要請しますが、電話やFAXなど、アナログな依頼方法が一般的であり、緊急対応が求められる環境では、その対応が逼迫している。

解決策

物資受発注 クラウドサービス

- 災害時、物資の細かな品目や数量まで自治体が企業へ迅速にオンライン発注できるクラウドサービス。
- 要請データを集約することで、タイムリーな情報共有が可能に。災害の影響を受けにくいインフラ環境下にサービスを構築しており、災害時でも継続的に利用できる。



B-order

災害物資要請をデジタル化する

<https://b-order.jp/>

Healium (×第一生命保険 株式会社)

企業概要

アメリカに拠点を置き、
VR/ARソリューションを提供する
ヘルステック スタートアップ



参加
プログラム

2020年 海外事業創出プログラム
日本の大企業と海外スタートアップとの
オープンイノベーションプログラム

防災 テーマ

保険の近傍領域での
災害時のQOL向上

【背景】

保険の近傍領域

(ヘルスケアやシニア等の領域)
において、顧客の日常や災害時の
クオリティ・オブ・ライフ向上に
寄与するソリューションを、
第一生命株式会社が提案募集

解決策

ストレスや不安軽減
に寄与する
VRソリューション

- ストレスや不安の軽減に効果がある映像をAR/VRを用いて提供するヘルスケアアプリ。災害時、当アプリを被災者に提供し、メンタルケアを行う。
- 2022年1月に実証実験を実施。仙台市職員に対してストレス軽減の効果やユーザビリティを検証。



<https://www.tryhealium.com/>

事例

Future Awards- 国内事業創出プログラム -

防災
テーマ

避難所運営の効率化（避難者情報管理のデジタル化）

解決策

- ・地域BWAを活用したAIカメラ [アンデックス株式会社]
- ・デジタル受付管理 [株式会社フォルテ]

仙台市内・小学校
での合同実証実験



実証実験サポートプログラム

防災
テーマ

消防団の活動支援（災害発生時の即時対応支援など）

解決策

消防団活動の効率化ツール [情報整備局]

消防団支援アプリ『S.A.F.E』



福島県古殿町の消防局
への実証実験

事例紹介 - サウンド株式会社

最後に

アンケート ご協力のお願い



後日、アンケートをメールで送付しますので、ご協力をお願いします
(Zoom退室後もアンケートフォームが開きます)

質問会のご案内

【第二部】質問会

16 : 00～16 : 30



本でご紹介したプログラムや
当プラットフォームに関する
質問を受け付けます